



2016年5月13日

## ルセフ・ブラジル大統領停職の波紋

公益財団法人 国際通貨研究所  
経済調査部 上席研究員 森川 央

ブラジル上院は11日、ルセフ大統領に対する罷免審議継続の是非を問う投票を行い、賛成票が55票と過半数(81名の上院議員のうち3名欠席、1名棄権)を上回ったため、継続が決まった。過半数どころか定足数の3分2(54票)を上回ったことはルセフ大統領にとって痛手である。この結果、ルセフ大統領の最大180日の停職が決まった。今後は、憲法の規定に従いテメル副大統領(民主運動党、PMDB)が大統領職を代行することになる。ルセフ大統領は内閣を解散する模様である。テメル大統領代行は新たに組閣に取り掛かる必要がある。

とはいえ、ルセフ大統領の弾劾はまだ決まったわけではない。罷免が確定するのは、上院の弾劾法廷での審議の後180日以内に実施される最終投票で3分の2以上で弾劾が可決された場合である。現状は厳しいが今後半年の間に何が起こるかかわからない。ルセフ大統領は巻き返しを狙っており、今後はテメル氏の弾劾請求、政敵であるカリエイロス上院議長(PMDB)の収賄疑惑追及を求めていくことになるだろう。既にこれまでルセフ政権攻撃の急先鋒であったクーニャ下院議長(PMDB)は、収賄とマネー・ロンダリングの疑いで議長資格が停止されている。今後与党となるPMDBも前途多難である。

金融市場は新政権がマーケット・フレンドリーな政策を採ってくれるものと期待しているが、テメル氏の側近は急激な変化は起こさないと述べている。財政については、緩やかな改善を望んでおり、既存の福祉プログラムを維持することを約束している。

彼らが、ルセフ政権の施策の継続を表明している背景には現実的な理由がある。第一に、PMDBは下院で最大議席数を誇るとはいえ、513議席中67議席しか持たない小党であることだ。そのため過半数(257議席)を得るためには多くの政党の協力を取り付ける必要がある。2016年も2015年並みの低成長率(マイナス3.8%)が予想されているなか、思い切った赤字削減策に賛成する政党が多数出てくるとは考えにくい。

また手続き面から考えても困難である。連邦政府の支出の85%は憲法か、それに準じる法規によって規定されており、変更には単純多数決以上の採決が求められるものが多いからである。<sup>i</sup>

更にいえば、2015年の第2期政権発足時、ルセフ大統領は改革派と評判の高かったレヴィ氏を財務大臣に起用し赤字削減を進めようとした。しかしその際、改革に抵抗し

<sup>i</sup> <http://foreignpolicy.com/2016/05/11/brazil-dilma-rousseff-economy-impeachment/>

赤字削減策を骨抜きにしていった議員の中には、当時の政権に与党として参加していた PMDB の議員が数多く含まれていた。そもそも、PMDB が改革志向を名乗ることには無理があるのではないか。

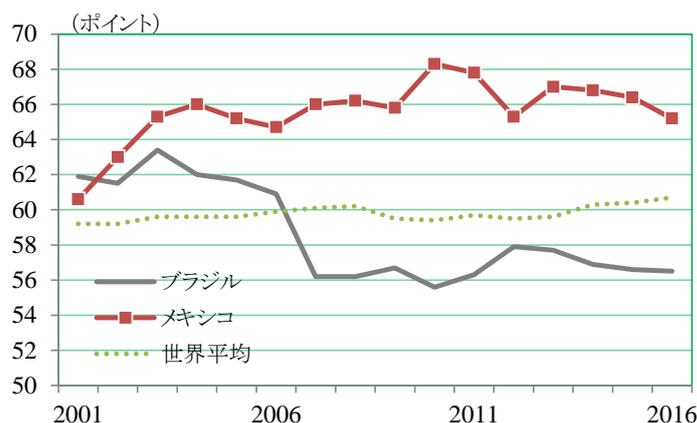
ブラジル政治の根本的な問題点は制度にある。政治学者のイデルバー・アベラーによると、ブラジルの政治制度は大統領制と議会民主制のハイブリッド（雑種）になっているという。大統領制でありながら、多くの小党による連立政権を頼るので、大統領の権力基盤はどうしても弱くなってしまふ。

その結果、与党は地位や利権で連立相手を集めることになってしまい、利益誘導や腐敗を生みやすくなる。その温床となっていたのが巨大な国有企業である。国家資本主義と連立的大統領制の組み合わせが制度疲労を起こしているのが今のブラジルといえよう。<sup>ii</sup>

途上国としては重く複雑な税制、国内産業保護が優先され閉鎖的な国内市場、先進国より優遇されている年金制度と労働者保護政策、劣悪なインフラ。長年指摘されているこれらの問題が、悪名高い「ブラジル・コスト」の原因となり、ブラジルの国際競争力を奪っている。ヘリテージ財団の経済自由度指数をみると、かつては同水準であったメキシコにブラジルは大きく後れをとっている。現在、メキシコは世界ランキングで 62 位であるのに対し、ブラジルは 122 位と引き離されている。改革の方向性と必要性ははっきりしているが、現状の国会勢力図を前提とする限り、誰が大統領になっても改革を期待することは難しいだろう。

ブラジルの変革には政党勢力図の変化が不可欠で、そのためには複数回の国政選挙が回必要になるのではないか。ブラジルには解散総選挙がなく、国政選挙は 4 年毎が原則である。構造改革には長い年月が必要になると思われる。

### 経済自由度指数



(注) スコアは0-100の範囲で示され、100が最も自由度が高い。  
 (資料) ヘリテージ財団

ii

<http://www.forbes.com/sites/shanonsims/2016/5/11-the-terribly-serious-sonsequences-of-brazil's-political-shenanigans>

当資料は情報提供のみを目的として作成されたものであり、何らかの行動を勧誘するものではありません。ご利用に関しては、すべてお客様御自身でご判断下さいますよう、宜しく申し上げます。当資料は信頼できると思われる情報に基づいて作成されていますが、その正確性を保証するものではありません。内容は予告なしに変更することがありますので、予めご了承下さい。また、当資料は著作物であり、著作権法により保護されています。全文または一部を転載する場合は出所を明記してください。